

新人議員大いに語る

3月議会終了後議長と懇談

去る3月14日、新人議員6名の皆さんが、実質的な議会を終えて、その感想を語っていただきました。

議長

議員になって今どんなことを感じていますか？

議長

議会を終えての感想をお聞かせ下さい。

■佐川裕一議員 より多くの方に声をかけていただけようになり、一層の責任を感じるようになりました。町民の皆様の声を良く聞いて共に住みよい町を築いていきたいと感じています。

■藤田智之議員 町民の意識の高さを改めて感じています。いろいろな場面で町民の視線を感じることが増えたように感じます。

■大楯 守議員 何事も初めてのことで色々な発見があり、毎日新鮮な気持ちで楽しく活動しています。

■緑川健一議員 今まで何気なく思っていた生活・仕事の面での人との接し方が変わってきたように思います。

■鈴木喜一議員 町民の代表者であることの責任と使命感がわいてきた。町民が今どんなことを思っているのか耳を傾けられるようになってきた。

■角田悦男議員 これから先輩議員にご指導を頂きながら更に努力をしなければと思いました。

■藤田智之議員 あつという間の三月議会でした。運営方法や慣例など初めて経験することが多かったです。

■鈴木喜一議員 初めての議会で緊張しましたが、一連の流れが覚えられました。次回の定例議会から毎回一般質問をしたいと考えています。

■角田悦男議員 議員の仕事は責任重大であると更にも感じました。また、初めての議会ですので緊張の連続でした。

■佐川裕一議員 適度の緊張感の中、無事終えることができてホッとしています。質問も数回行うことができました。初めての議会としては良かったのではないかと感じています。まだまだ勉強が必要だと感じました。

■大楯 守議員 あつという間の十日間でした。

議長

一般質問に立たれた皆さん終えてみていかがでしたか？

■角田悦男議員 町民が生活する中で様々な問題が山積している現在、町民が望んでいることは何かを見極めて質問したつもりですが、質問の要領を得ないため、経験不足を特に感じました。



▲ 3月議会が終り、ほっとする新人議員（中央は佐藤議長）

■大楯 守議員 自分がすると、他の人が質問するのを見ているのではぜんぜん違います。傍聴者が多くてよかったです。

■藤田智之議員 議会での質問は、答弁者が席に着いてからということは知りませんでした。質問者、答弁者ともに原稿を読みあうだけでは意味がないと思いますが、なかなか質問が続きませんでした。まだまだ、勉強が必要だと感じました。

■佐川裕一議員 多少緊張しましたが、自分の考えていた質問や意見は大部分話すことができました。今後も町民の皆様の目線に立った質問を毎議会行っていきたいと思います。

議長 棚倉町を将来どのような町にしたいと考えますか？

■鈴木喜一議員 私は、創造性豊かな元気の出る町づくりを訴えてきました。財政が厳しくても町民がアイデアを出し合い、力を結集できる活動が今必要だと思います。

■藤田智之議員 元気のある町、そのためには安全安心の町づくりが必要だと思います。

■大楯 守議員 明るく、豊かな町づくりのもと、一人ひとりがそれぞれ輝いている個性のある街にしたいと思います。

■佐川裕一議員 町民の皆様が安心して、楽しく住みよいと思える町にしていきたいと考えています。その為に議員を見かけたらどんな意見・質問をしていただきたいと思っています。

■角田悦男議員 老若男女が安心して生活できる住みよい町づくりのために全力を傾注していきたいと思っています。

■緑川健一議員 将来、子どもや孫と一緒に暮らせる住みよい町づくり。格差のないバリアフリー的な町づくりをめざしたいと思います。また、高齢者を大切にした町とするため、第二、第三の特老施設「寿恵園」等の実現に努力したい。

議長 その他気づいた点はありませんか？

■藤田智之議員 傍聴に大勢の方に来ていただき、感謝申し上げます。

■佐川裕一議員 まだ慣れていないせいか、議事の進行の速度についていけない部分もありました。議場のイスが座りづらく疲れします。